

おはなししましょ

11月6日から17日までの期間を「お話週間」として、子どもと担任との対話の時間（お話タイム）を設定しています。時間は1校時が始まる前の朝の時間を使い、一人3分ずつ、ろうか子どもと担任とでお話をします。

「学校は楽しいか」「好きな教科は？嫌いな教科は？」「今夢中になっていること」など内容はさまざまです。このとき担任は、傾聴に徹し、どのような話であっても、基本、このお話タイムの時間に指導を入れることはしません。

担任をしていて、忙しく過ぎていく毎日、ふと思えば、「そういえば最近〇〇さん（子ども）と会話を交わしてないのでは」と思うことがあります。担任は、毎日子どもたち全員と接しているようで、そうではないことにも気付かされます。

私ごとで恐縮ですが、高校生になる我が子、ちっとも話をしてくれなくなりました。何を考えているのか、分かっているようで、実は何も分かってないのかもしれない。それぞれのご家庭はどうでしょうか。



友人関係を考える

2日に開催した授業参観及び親子教育講演会へのご参加ありがとうございます。子どもたちの学校での様子をご覧いただくことももちろんですが、教員にとっても、保護者の方に授業の様子を見ていただくことは励みになります。

親子教育講演会では、講師に佐賀県DV総合対策センターから所長の菖蒲さん、コーディネーターの諸石さんをお呼びし「友達との関係」をテーマに、お話をいただきました。友達関係といっても、上学年、下学年ともに主に「性」を中心に据えた関係づくりでした。講師のお二人によると、多くの学校で講話を行っているけれども、今回のように、保護者の方に参加していただける機会はめったにないようで、大変ありがたかったとのことでした。

ご参加、ありがとうございました。



七福神現る

3年生は年間を通じて地域のことを学習しています。11月4日のこの日は姉地区の伝統行事「姉の七福神」について学習をしました。

私（校長）も姉地区にこのような行事があったことを初めて知りました。保存会の方が、事前の打合せの中で、「姉の七福神」を学習で取り上げたことにとても喜ばれている様子が印象的でした。

当日も七福神の装飾物や持ち物をたくさんお持ちいただき、振る舞いや口上の実演など披露してくださいました。子どもたちも、教えてもらいながら見よう見まねで体験をしてとても楽しそうでした。

コロナ禍で行事そのものが中止せざるを得ない状況が続き、ようやく復活を、というところなのだそうです。時代に合わせて形態は少しずつ変わりはすると思いますが、伝統（心）はつないでいきたいものです。



バイキング給食

11月7日は恒例の6年生バイキング給食でした。この日ばかりは、ある程度好きなものを選んで、多め、少なめにとることができました。デザートも複数あって、6年生はとても喜んでいました。一通り食べた後も、まだ十分おかわりができる状況で、人気のデザートなどは、争奪戦にならないかと少々心配しながら見ていました。しかし、その分配のなんと平和なこと。取り合うわけでもなく、ちょうどよい塩梅でたいらげてくださいました。

「近年の物価上昇で、これが精一杯です。すいません。」

と給食提供を司る栄養教諭が申し訳なさそうに言われましたが、子どもたちの反応は、「(修学旅行の)長崎のホテルより豪華じゃね。」

でした。私もそう思いました。



「いごてだま」ってなに？

11月10日は、来年に迫った「SAGA2024（国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会）」を盛り上げる活動の一環で、佐賀県と神崎市から9名の職員が来校され、「国スポ・全障スポ」について、5年生と6年生を対象に講話やデモンストレーション競技の体験を行いました。

デモンストレーション競技とは、正式競技（37競技）などとは別に、大人から子どもまで、誰でも参加して楽しめる競技種目で、28競技もあるそうです。各開催市町でデモンストレーション競技が開催され、神崎市では、「いごてだま」競技が行われるということでした。

聞いたことも見たこともない競技で、興味津々で体験をしたところ、これがとてもおもしろく、大盛り上がりでした。5×5のマスシートにお手玉を投げ入れ、ビンゴまたは入ったお手玉の数を競います。誰でもできるものですが、ルールもきっちりしており、投げ入れたお手玉を真上から見て、ちょっとでも枠線に掛かっていたら無効でした。5名1組（チーム）で、すでに神崎市役所の国スポ係にて申し込みも始まっているとのことでした。

【神崎市開催競技】

・ハンドボール ・剣道 ・いごてだま ・フライングディスク ・ブラインドテニス



こんなところでも国スポ応援してます

市内の小・中学校では、「都道府県応援のぼり旗」の作成をして、国スポの協力をしています。中部小でも4年生以上で、のぼり旗を作成しています。神崎市の競技会場のどこかに立てられますので、少々先の話ではありますが、見かけられたら探してみてください。



左上の完成版は、4年生が作成したものです。活動の写真は、6年生の11月9日の様子です。のぼり旗の下に学校名と学年学級の記載があります。



インフルエンザにご注意

コロナウイルス感染症については、9月を境にぱったりと聞かなくなりました。変わってインフルエンザが流行しています。中部小では、先週（11月6日～10日）は「ゼロ」でした。ただし発熱欠席は毎日数名いる状況で、登校後具合が悪くなって早退する子どももいます。特にお子様の朝の健康状態について、ご家庭でも注視くださいますようお願いします。

校長のひとりごと

【さるに烏帽子】

「今日から心を入れかえて勉強するんだ」と言うと、「さるに烏帽子」と言われた。

【いたちごっこ】

なんでもかんでもさわりたいがる子ども。それをふせぐ母。うちは毎日いたちごっこ。

【とかげのしっぽきり】

とかげのしっぽきりで、みんなのしっぽいを弟のせいにして逃げた。

校舎の階段の踊り場に掲示してある4年生の慣用句の学習ワークシート。あれやこれやと難しいことを考えながら、しぶい顔をして廊下を歩いている私ですが、立ち止まってこれらを見るたびに

「ま、いつか。」

という気になってしまいます。